

項目別評価結果・評価コメント

種 別 : 通所介護

事業者名 : 辰巳萬緑苑サービスセンター

評価基準	項目番号	評点	コメント
福祉サービスの基本方針と組織			
- 1 理念・基本方針			
- 1- (1) 理念、基本方針が確立されている。			
- 1- (1)- 理念が明文化されている。	1	a	創業者の言葉「一隅を照らす」を法人運営の基本理念として事業計画が作成されており、広報誌、ホームページ、各種マニュアルに明記してある。さらに施設内に掲示し、全職員がこの理念を日々の業務を適切に遂行する上での行動指針としている。
- 1- (1)- 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	a	基本理念に基づき年度単位で基本活動方針を定めている。さらに、「咲かせよう 萬緑苑 笑顔の花」をスローガンのもとに、今年度の活動方針として、「感染0と地域交流事業の両立」ほか6方針が決められてある。さらに職員スローガンが選出され、利用者本位の積極的な事業運営がなされている。
- 1- (2) 理念、基本方針が周知されている。			
- 1- (2)- 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	a	年初の全体会議で全職員に事業計画書が配布され、理事長、施設長から運営目標が説明される。これらは職員会議、主任会議で十分検討され、活動方針、職員スローガン「なれた仕事に一呼吸 まわりが見える ゆとりのこころ」が決められ、職員の理事長、施設長に対する信頼は厚く理念や基本方針は十分に周知徹底されている。
- 1- (2)- 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	a	施設の理念や基本方針を利用者、家族および地域の人達に理解していただくために契約書、ホームページ、広報誌、後援会新聞などに載せて案内している。また、施設の内部に掲示してある。

評価基準	項目番号	評点	コメント
- 2 計画の策定			
- 2- (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
- 2- (1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	a	理事会等で決定した中・長期ビジョンをもとに中・長期計画を策定し年度の計画を立てている。補修関連、設備整備、研修計画の具体的目標と達成期間を定めている。本年度は単独型デイサービス施設の設立推進、地域福祉を担う人材・団体の育成、施設建て替え用の土地の確保などである。
- 2- (2) 重要課題の明確化			
- 2- (2)- 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	a	前年度の運営状況の分析をもとに課題を明確にし、次年度の基本方針に反映させている。本年度の事業計画における基本活動は運営改善経営の立て直し、ショートステイとの一体的運営の協力、単独事業所設立計画の推進、ホーム業務の体験研修、家族会結成の準備ほか5課題である。
- 2- (3) 計画が適切に策定されている。			
- 2- (3)- 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	7	a	基本方針、事業計画は年初に施設長が骨子をつくり、職員会議で発表し、討議を経て評議会決定するシステムになっている。計画の見直しは現場職員の意見が重視され、幹部職員と合議できる仕組みが確立されている。
- 3 管理者の責任とリーダーシップ			
- 3- (1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
- 3- (1)- 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	a	施設長は福祉サービスの質の向上を図るため利用者や家族宛のアンケート(不満足アンケート)を実施したり、施設と家族との連絡帳から意見や要望を吸い上げて、職員の改善目標を定め主任会議で検討させるなど指導力を発揮している。また、地域住民の要望を聴くなど地域活動を積極的に展開している。

評価基準	項目番号	評点	コメント
- 3- (1)- 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	a	施設長は経営や業務の効率化を進めるため、毎日の経営分析により実態を把握している。従業員の新しい人員配置や設備の更新など職員の働きやすい環境づくりに取り組んでいる。また、新しい施設建設については職員の意見を十分に尊重して業務を進め、指導力を発揮している。
組織の運営管理			
- 1 経営状況の把握			
- 1- (1) 経営環境の変化等への対応			
- 1- (1)- 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	a	施設長は高齢者福祉施設協会及び地域の各種福祉団体の要職にあり、事業経営を取り巻く厳しい環境の変化を認識し、潜在的利用者データなどを把握している。また、地域包括支援センターとの連携を密にし、地域福祉団体関係者との交流を深め、各種の情報を収集し事業展開に役立てている。
- 1- (1)- 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	a	月次決算、実績報告などのデータは毎月パソコンにより自動集計され、理事長、施設長、現場責任者で状況を把握、分析し検証し、迅速な改善策を講じている。また、経営状況や改善すべき課題を職員と共に討議するなど経営の透明性を高めている。
- 2 人材の確保・養成			
- 2- (1) 人事管理の体制が整備されている。			
- 2- (1)- 人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的に行っている。	12	a	施設本体に併設された小規模デイサービスのため人事施策は施設全体で実施されている。人事方針は「人材の確保と育成」である。人事考課制度があり、格付け、昇格、昇給等に関する基準が設定され、職員に十分に周知徹底されている。人材育成に重点を置き、計画性のある指導者育成、さらに新人研修と外国人研修を組織的に実施している。

評価基準	項目番号	評点	コメント
- 2 - (1) - 職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	13	a	職員の業績評価は個人目標が作成され、その達成度の第一次評価は職場の主任が実施し、次に事務長、施設長が修正し評価が決定される。賞与時には個人面接を行い、評価結果をフィードバックするなど透明性を高めている。また、全職員の推薦による表彰制度を創設し、職員の意欲向上に取り組んでいる。
- 2 - (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
- 2 - (2) - 事業所の改善課題について、スタッフ (委託業者を含む) などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	14	a	毎月の主任会議 (処遇会議) 職員会議、各職場の会議で現場職員からの改善課題が吸い上げられ検討されている。また、有給休暇の消化実態や時間外労働データは施設長がチェックして必要により個人面談を実施するなどの確な状況把握に努めている。
- 2 - (2) - 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	15	a	福利厚生事業として千葉県福祉事業共助会への加入や親睦会の行事への支援を積極的に行っている。また、産業医によるカウンセリングや弁護士による法律相談体制も整っている。さらに持家制度による支援策、傷病休暇や介護休暇の取得促進のために人員配置を手厚くしているなど福利厚生施策の充実が評価される。